

若桜鬼ヶ城(鬼ヶ城, 若桜城) (国史跡, 続百名城) (八頭郡若桜町大字若桜)

若桜鬼ヶ城（わかさおにがじょう）は鳥取県八頭郡若桜町若桜に存在した日本の城。城跡は国の史跡に指定^[1]されている。

概要

因幡三名城（この他に鳥取城、鹿野城）のひとつに数えられる名城である。標高 452 メートル（比高 252 メートル）の鶴尾山山頂部から尾根部分に曲輪群を設けている。主に木下・山崎氏時代の主要部と国人・矢部氏時代の古城部に分けられ、中世城郭と石垣で作られた近世城郭の両方の遺構が残っている。また、主要部の石垣には元和 3 年（1617 年）の破城の形跡が見られ各所で崩れた石垣が確認される。

鳥取県教育委員会が平成 10 年（1998 年）から 15 年（2003 年）にかけて実施した県内の城館分布調査で全国的にも類を見ない遺構が発見され、国の史跡級の城跡であることが確認された。国の史跡への指定は土地の権利などの問題で以前から難航していたが、平成 20 年（2008 年）3 月 28 日に実現した。

2017 年（平成 29 年）4 月 6 日、続日本 100 名城（168 番）に選定された

Wikipedia による

